

第20号

発行日 平成8年10月20日

発行所

東京青山同窓会事務局

〒151

渋谷区幡ヶ谷1-7-4

深津ビル4F

TEL 03-3378-6616

発行者 坂井 俊一

東京会報

東京青山同窓会

東京青山同窓会年間維持費

1口1000円2口以上(年間)

会計幹事 岩原 昭(53回)

振込先

さくら銀行 神田支店

普3485843 東京青山同窓会

郵便振込口座 00150-9-4074

新人歓迎会報告 平成8年3月の卒業生を迎えて



新人歓迎会報告(その2) 新機軸!「二次会の巻」

既報の通り、たいへん有意義かつ盛り上がりを見せた新人歓迎会に引き続き、同じ東洋経済新報社ビル地下のパブ「うすけぼー」にて有志による「先輩と新人のコミュニケーションを深めるための二次会」が開催されました。

年に数回の東京青山同窓会の行事にからめ、少しでも若い世代が参加しやすい、参加したくなる雰囲気作りをと願った幹事の発案で新人の会費は1000円ポッキリ。これでも高いという奴がいたが、東京はそんなにあまくないぞ!…と言いつつかわい後輩嬢の微笑みに、つい男女5、6人分の会費を払ってやったのは私だけでしょうか?とにかく、ほぼ全員の新人と相当数の先輩おっさん方、終電で帰るという特別ゲストの斎藤繁夫教諭含め、定員オーバーの大盛況。「こうなれば、飲んだ方が勝ちらて」てなわけで、最後は一気飲みコールを連続するグループも。「最近の女子予備校生も強いねえ…」かと思

うと、「おっさん、19歳の女の子にくだまいてどーすんの?」「あっ、両手に花の俺の席、勝手にとるな」「すいません。会費が足り

ませ〜ん。どなたかお願いできますかあ」「おい、そこの若いの!まだ酒あっから水割り作って持ってこい…」「だいたい社会人たるものは…」…いやはや、画期的な飲ミネーションでした。新人諸君、また来てね!

84回・星野郁夫



36回・斎藤英四郎名誉会長

44回・斎藤伸雄会長

恒例の新人歓迎会が6月14日、東洋経済新報社9階ホールにおいて、新人約40名を迎えて開催された。始めに斎藤伸雄会長(44回)の歓迎の挨拶があり、次いで斎藤英四郎名誉会長(36回)から「新潟県民として誇りを持ち、相互扶助の精神で、国際的な視野に立ち世の中のために頑張ってもらいたい」旨のお話を頂いた。次に新潟からの来賓として、上村光司同窓会会長(50回)が、東京同窓会への謝辞と、新人諸君への励ましの挨拶をされ、旧担任斎藤繁夫教諭(77回)から、今年の進学状況や、校舍改築工事の経過などが報告された。それからテレビ東京常務取締役、植村鞆音氏(64回)の講演に入った。植村氏は、自分の生い立ち、幼年期の遊んだ砂丘やグミ林のこと、高校への通学路に咲いていたニセアカシ

ヤの花、学校での思い出など、我々が共有する光景を懐かしそうに話された。早稲田大学卒業後は東映に入社し、2年後テレビ東京に移り編成一筋で仕事をしてこられたこと、仕事ながら様々な著名人との巡り合いがあり、「人に歴史あり」でのエピソードを当時を思い出しながら、しみじみと語られた。終始穏やかで情感ある語り口に、我々も新人も皆深く聞き入り、講演は終了した。最後に新人代表として遠藤義之君が返礼の辞を述べて会は懇親会へ移った。乾杯の後、テーブルを囲み世代を越えて歓談し、新人は卒業以来の恩師や旧友との再会に大いに話も弾み、会は最高潮に達した。そして我が母校校歌、応援歌を大合唱し懇親会を終了した。新人諸君もこれを機に、東京青山同窓会で各世代の先輩と交流を深め、次にくる後輩のため、会を盛り上げていくことを期待したい。

75回・白鳥十三



東京青山



新人代表・遠藤義之君

同窓生が語り同窓生が聴く

好評だった講演会

岡田久氏(59回卒)・小松重男氏(56回卒)

4月25日(木)、午後6時から東洋経済ホールにおいて、講演会を開催した。「同窓生が語って同窓生が聴く」(三崎正一副会長談)スタイルの、本会独自の講演会も回を重ねるごとに定着し、心待ちにする隠れファンもあり、約70名の出席者が熱心に耳を傾けた。講師陣は今回も豪華で、いずれも専門的、かつ独創的な発想と興味ある内容で、非常に好評であった。講演終了後はいつものとおり講師を囲んで懇親会となり、会場のあちこちで話しが弾み、名残つきぬうちに散会となった。講演内容の概略を下記に記す。

(記・坂井俊一・64回)

【石油の開発】

帝国石油(株)社長 岡田久氏・59回

石油は、約46億年前に生成されたといわれるが、現在100本試掘しても運良く石油に当たるのは10本程度、そのうち油田にまで仕上がるのは2本程度の確率でしかない。地球上には7~8兆バレルの石油が埋蔵されているといわれるが、そのうち採掘可能なのは2兆バレル程度で、現在のペースで採掘を続けるとあと45年で枯渇する。ただし、採掘技術も日進月歩しているもので、これに期待したい。

国際的な石油需要は、2010年頃に発展途上国を中心として、飛躍的に増大することが予想されるが、今後は技術革新によって核融合、超電導等、石油に変わるエネルギーの開発が不可欠となろう。

いずれにしても、限りある資源である石油の、これがなくなる時代に備えて、我々は一体何をなすべきかを考えなければならぬ。

【江戸時代の新潟】

作家 小松重男氏・56回

かつて、時代小説=大衆小説=娯楽小説=非文学作品といわれていた。時代小説と歴史小説の違いは、後者がより学問的で時代考証に重点を置くといわれる。我々作家はフィクションでものを書くが、歴史学者は絶対に推測をしない。



私は中年になってから時代小説を書き始めた。主に古川柳、歌舞伎、市井ものを書いてきたから、歴史を本気で調べようとはしなかった。もともと正確な時代考証は不明なものが多い。例えば、旗本とご家人の違いにしても、禄高、幕府の職制、給与体系の相違等の諸説があるが、結論としては不明である。幕府においてもハッキリとした記録がないのである。

新潟という地名が、初めて文献に登場するのは上杉謙信の書状ということになっていたが、数年前に新たな資料が発見されて、京都の坊さんの「旅日記」の中に、沼垂の津(港)と蒲原の津から新潟へ、という地名が出てくる。また、古川柳にも、江戸時代の新潟東堀界隈の薬種問屋が軒並み栄えていた模様を諷刺したものなどがあって、興味深い。



戸時代の新潟東堀界隈の薬種問屋が軒並み栄えていた模様を諷刺したものなどがあって、興味深い。

三浦文治回顧展

青空ボン太先生

金山常吉(60回)

青空に月も浮かぶように、夜空の奥深いところにも青空が浮かんでいる。ゆったりと人生を味わいながら……のコツみたいなものを三浦先生から授かりました。

三回忌を兼ね大和新潟店で9月26日~10月1日まで盛大に開催されました。先生は美術の教諭として1946年~1956年(54回~64回卒)勤務され、ユニークな校章のデザインもされました。その後、新発田高校、三条高校と教えられ定年を迎えられました。その間新潟県高等学校教職員組合長の激務も務められ、いつ絵を画かっていたのか200点近い作品と100冊を越すスケッチブックを残されました。教職一筋で、美術家年鑑にも載っていませんが大和絵の本筋を継ぐ心あたたまる日本画を描き続けていらっしました。

その実力は新潟県立近代美術館の横山秀樹氏も認めるところで、同窓会員の長谷川新潟市長のご助言もあり、県・市両方の美術館に買い上げとなる作品もありました。郷土が生んだ日本画家、青空ボン太先生の名は10月29日のNHK日曜美術館でも取り上げ全国放送となりました。

教え子達が実行委員会を作り新潟日報社のご協力を得て両者の主催となり、東山魁夷氏からの生花も飾られ、近頃まれな催しとなりました。

その底力となっているのは青山同窓会である、というのが実感です。皆様のご協力に、三浦リツ未亡人もお礼のことはを申し上げますとのことでした。

三浦文治回顧展実行委員会 副委員長



青山同窓会総会に出席して

53回・岩原 昭

平成8年度青山同窓会総会は、7月12日(金) ホテル新潟において、750名の出席者を迎えて盛大に開催されました。会場は当ホテル最大の飛翔の間で開かれましたが、地元名門校の同窓会だけに、席は立錫の余地もなく素晴らしい総会でした。



上村光司会長・50回

東京からは、斎藤伸雄会長(44回)、佐藤良策(53回)、坂井俊一幹事長(64回)と小生が来賓として出席しました。新潟高校からは、佐藤義雄校長先生を始め、現職の諸先生の皆さん、同窓会事務局の皆さんが出席されました。

本部側は鈴木正二顧問(37回)、上村光司会長(50回)以下役員全員、特別来賓として長谷川新潟市長(61回)が出席されました。

総会は会長、校長の挨拶があり、待望の母校全面改築のお話があり、平成13年度には総合校舎として、体育館、プール、グラウンドなど県立高校に相応しい建物が完成する予定とのことでした。続いて議事に入り、会務報告、会計報告が行われ、決算および予算が原案通り可決され、滞りなく議事が終了しました。

引き続き恒例の懇親会に入り、名物の余興は新潟名妓による「佐渡おけさ」を始め民謡踊りの数々が披露されました。

久しぶりに再会した青春時代の仲間達と思い出を語りながら、美酒に酔い、若き血潮を甦らせたのでした。老壮若を問わず、今後の健闘と、お互いの健康を祈りながら、誓い合ったのでした。

盛んな同期会とその報告

東京で、新潟で同期会が盛んに開かれています。その宴の様子をお知らせします。また、「我が学年の報告も」という方がいらっしゃいましたら、事務局まで原稿をお寄せ下さい。

団結力の証明

74回同期会

我が74回生(41年卒)の団結力の強さで130数名も集合した同級会の報告を致します。

新潟の各幹事のご尽力により卒業30周年記念パーティが青陵祭前夜の6月7日、東堀の中華店およびホテルで

の多い新潟組に取られ、しかたなく男10名ぐらいで三、四次会と新潟中の酒を飲み続けました。

東京のマドンナの一人である藤田(哇上)廣子君(今年の横浜市環境保護大賞受賞)によれば「高校の時は



一、二次会として、東京青山から約30名馳せ参じ、恩師の方々や女子(?)を囲んで記念撮影を行うなど盛大に催されました。

東京青山組は顔なじみの連中ばかりでしたが、新潟組は30年ぶりに会う人も多くお互いの親父ぶりに感心するばかりでした。最後はお決まりの「ますらお」を剣道部の近藤博君の音頭で歌い、そして私が晴れがましくも青山のエールを決め終焉となりました。

しかし、尚、別れがたく有志で古町へ繰り出したものの新潟のマドンナを追いかければ一軒の店では入り切れずあぶれ、東京のマドンナは数



近寄りがたかった素敵な貴男と30年ぶりにフランクに話すことができ、とても楽しかった。」とのこと、さて誰のことでしょう。

<ご出席いただいた恩師>

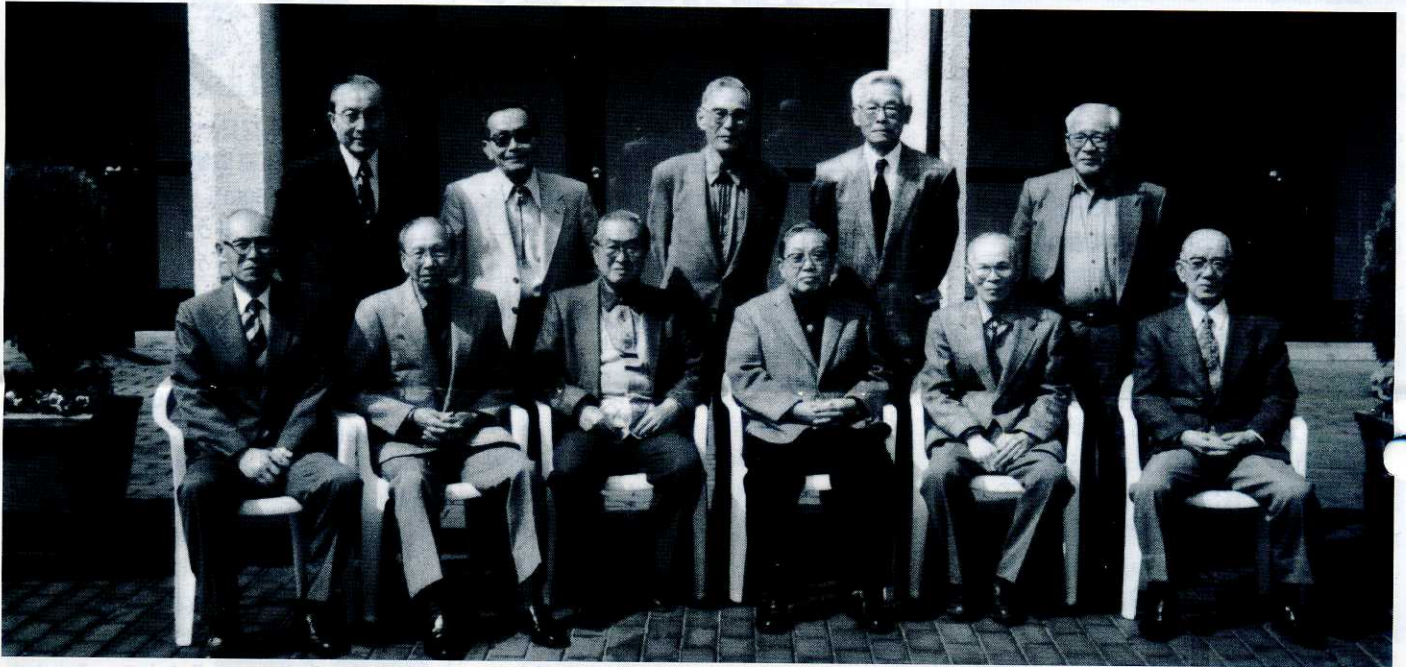
山岸達郎・野呂重行・飯塚良彦・奈良孝基・宮地正樹

記・元空手部 菊池 隆

(今年の目黒区水泳大会年齢別7位入賞＝ビリ)

東京四六会の記

46回同期会



4月18日東京近辺在住の46回生の集まりを持った。この集まりは昭和57年2月の第1回から浜田・福島・山田の3幹事の世話で続けられ、今年は節目の15回目に当たる。

出席者は第1回の16名から漸減傾向にあり今年は11名。名簿でも最初40余名だったのが、この1年の2名を含めて15年間に11名が亡くなったほかに転居などの出入りがあり、現在は31名。欠席の返事で「体調不良で」とあるのは加齢のためとは言え残念であるが、奥さんの体調のためとあるのはまったく気の毒である。

今までの夜の開催をお昼に切り替えた幹事の配慮には、我々46回はこ

の1年で全員が75才を超える齢で、そろそろ夜遅くなるのがオックウになっているので皆が賛成、料理が味質量とも老人向きで好評だった会場は浜田君が伝手を頼っての日立金属の高輪和彊館。

殆ど常連化しているが久しぶりの出席者もあり全員が近況報告、その後は各地の誰彼の情報や在校時の思い出など歓談は尽きないが2時間ほどで記念撮影のあと名残を惜しみながら来年を約し三々五々。

余談であるが本東京青山の行事への参加を学年幹事（この同期会は別）として要請したついでに、タイミング良く週刊新潮に出ていたその数日

後の本会の講演会の講師である小松重男氏による謙信の一生不犯の所以についての小説のさわりを富所が調べたことから、「当時トラは女子の名であったこと、残っている彼の太刀が普通より短いこと（普通の長さだったら川中島で信玄を倒せた？）、赤塚（越後線沿線）所在の某寺の記録に謙信の死病として大虫とあるがこれは婦人だけの病の名がある」など具体的な理由を付して、幼名が景虎と名乗ったことのある謙信が女だったこと疑いなしとの、謙信と同姓の上杉君が御祖父から聞いたという話に誰もが感心して聞き入ったのであった。

註・しばらく返事のない10人ほどには2、3年前から通知しないことになりました。出席を希望する人は前述の3幹事に私にご連絡下さい。

富所強哉・記

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう？」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、右記の費用（切手にて）を同封の上、下記事務局までお送り下さい。

□東京青山同窓会事務局

〒151東京都渋谷区幡ヶ谷1-7-4深津ビル4F TEL. 03-3378-6616

■住所リスト

1学年／1500円分の切手

■宛名ラベル

1学年／2000円分の切手

他の学年の同期会の、元気なご報告をお待ちしております。

この会報は、同窓会名簿に基づき5000人あまりの同窓生にお届けしています。どうか皆さんの力で盛り上げて頂きたいと思います。（編）

平成8年度 総会のお知らせ

日時 平成8年11月15日(金)
午後6:00より(夕食付)
会場 サンケイホール(大手町)
会費 男性/8000円
女性・学生/4000円

●同窓会カードをお持ちの方、
あるいは申込みをされた方は
500円の割引となります。
当日の受付でも申込み手続きがで
きます。(口座印をご持参下さい)
便利な同窓会カードをこの機会に
ぜひお持ち下さい。

ビュッフェスタイルの懇親会やアト
ラクションなども予定しています。
また、学生諸君にとっても社会経験
豊富な諸先輩方に就職相談をする絶
好のチャンスです。どうぞお誘い合
わせの上ご参加下さい。(当日は斎藤英
四郎名誉会長もご出席の予定です。)

【アトラクター紹介】

B.Bros.

ビープロス

テレビや、舞台上で活躍中
の漫才コンビ。当同窓会、
82回生の小川祥二氏が
役員を務める(株)プロダクション「人力舎」
に所属。BSNラジオでレギュラー出演の経験あ
り。抱腹絶倒まがいなし。どうぞお楽しみに。



株式会社 寿司田 社長
太田 裕^{すしでん} (71回卒)

中央区勝どきの寿
司田本社ビルの社長
室に太田社長をお訪ねしました。大
きな体に人なつこい笑顔が印象的で、
社員とも気軽に議論をする様子は、
発展する会社の頼りになる「船長さ
ん」という感じです。寿司田グル
ープは、日本やニューヨークなどで
「寿司田」「写楽」「桂」「古径」「乾山」
など88店舗を営業しており、日本の
食文化をたくさんの人に提供したい
と健闘されています。

新高から慶応大学へ進まれた太田
氏の青春時代は奔放でしかし自己を
律する厳しさにあふれた密度の高い
ものだったようです。大学時代勉学
のかたわらボディビルに熱中し、卒
業後は三菱商事に入社、海外勤務も
含め活躍されました。その豊富な経
験からか、既成概念や外見で判断し
ない懐の広さを感じます。

同期会や、会食に寿司田をどうぞ
ご利用下さい。太田社長が直接ご相
談に応じて下さるそうです。

連絡先：(株)寿司田本社

TEL. 03-3532-1511 (代)

太田社長まで

※同窓会カードが使える店舗もあります。

情報コーナー

同窓生の近況情報

劇団 群「と・ま・ん」公演のお知らせ
「北越雪譜」--天からの手紙--

- ☐平成8年11月27日～30日まで5回公演
- ☐両国・江戸東京博物館ホールにて
- ☐チケット/3500円・全席自由
- チケットぴあ、チケットセゾンにて
- ☐問い合わせ先(チケットも)/
- 群「と・ま・ん」

TEL&FAX 03-3337-2134

原作：鈴木牧之

脚色・演出：中川寿夫(66卒)

天保12年に越後塩沢に住む鈴木牧之に
よって書かれた「北越雪譜」という江戸
時代の名作を、昭和30年代の豪雪地帯に
舞台を移して、新潟出身の気鋭の演出家、
中川寿夫が演出する。太古から人は、自
然を神として畏れ、敬いつつ折り合いを
つけて生きてきた。共存する自然とは、
神と共に生きることそのもの。そんな自
然との対話を「北越雪譜」の原文を語り
通すという形を取りながら、出演者が自
ら奏でる民族楽器の調べをバックに展開
して行く。

■中川寿夫プロフィール

1940年新潟に生まれる。新潟高校から早稲
田大学演劇科に進む。主な演出作品に、坂
東玉三郎主演「天守物語」、片岡孝夫主演
「幻の華」、中村吉右衛門主演「鬼平犯科帳」、
大地真央主演「恋らんまん」など

ぜひ
お手続きください！
皆さんの加入が同窓会の
発展に役立ちます。



カードをお持ちの方は同窓会行事への
参加費が割引になるなど特典もあります。

同窓会カードができました

同窓会の年会費を 便利な口座自動振替に!!

手続は簡単です。
所定の申込用紙に記入、捺印するだけ。

事務局にご一報ください。申込用紙をお送りいたします。

03-3378-6616

- カードにお名前と卒業回数が刻印され、同窓生としての証に。
- 同窓会の年会費が銀行引き落としとなり、いちいち郵便局へ
出向く必要がなくなります。

GCカードとの提携により、クレジットカード、キャッシングカードとしても使えます。カード会社への入会金や年会費は一切無料です。

平成7年度・会費納入者一覧

H7.10.1~H8.9.30現在まで

30回/1名 鷺田 徳雄	45回/7名 大滝 俊夫 川村 武義 品田 弘正 野瀬 秀雄 馬場 義輔 稲野 藤三郎 上杉 幸男 小嶋 常廣 工藤 俊文 富所 強哉 堀 松吾 47回/7名 青山 信一 朝日 翠一 剣持 栄一 斎藤 浩一 斎藤 橋本 島山 元雄 山崎 成成 山崎 博也 48回/10名 石本 三郎 片桐 光太郎 小池 清泰 小嶋 碩夫 大沼 正一 佐藤 昌 真保 昌 白石 哲郎 田中 昭男 山田 猛 49回/20名 赤松 元敏 阿部 東一 井上 正 内田 文雄 逢坂 猛男 高田 信川 高田 宗雄 南学 正時 41回/4名 五十嵐 富郎 高野 秀夫 中村 昌利 布施 栄信 42回/12名 中村 康平 相沢 康平 朝日 アキラ 石井 嵩 片山 彦三 塩谷 正雄 高橋 二郎 田中 正吉 東城 貞佐男 鳥羽 正隆 浜田 収二郎 廣川 治 丸山 平次 43回/18名 市橋 敏雄 梅田 第次 小沢 省三 岸 裕三 黒岩 廣雄 佐藤 彰平 関根 克義 高橋 義雄 滝澤 義久 竹井 松雄 竹林 一郎 田中 茂 徳重 正男 野船 春洋 本間 武 村山 登 本山 信城 渡辺 千尋 44回/14名 今井 義夫 金子 一夫 倉 耕一 小山 得二 斎藤 伸雄 坂井 健一 佐藤 敬雄 錦織 登美夫 廣川 徳義 野口 勇一郎 前山 金一郎 山下 裕香 吉田 迪	丸山 幹男 吉田 和郎 和貝 雄雄 52回/24名 浅水 彪 阿部 和夫 磯 康彦 大山 昇 金居 直 北村 新平 栗原 一也 児島 壽一 小嶋 嘉彦 斎藤 茂美 斎藤 五郎 坂井 保也 佐藤 昭三 佐藤 富栄 豊岡 義行 廣川 照二 廣川 昭二 宮坂 達夫 村川 修二郎 森 重郎 湯木 昭二 53回/17名 渡海 典 石原 孝 石本 正男 岩原 昭 小村 武 近 泰男 佐藤 良策 堀谷 芳男 中村 正彦 長場 雅 林 博 広野 究 山崎 清 山崎 健二 山田 又典 山田 豊隆 渡辺 弘安 54回/1名 安達 信吾 55回/13名 新井 勝隆 大塚 久雄 倉茂 周明 斎藤 政実 高橋 和雄 千葉 繁治 中村 正義 中村 幹男 星 健 村山 義夫 湯川 昌彦 56回/70名 赤坂 長弥 荒井 宏 飯島 昌弘 安宅 久朋 阿部 昌雄 池田 正文 伊藤 修造 園城 英二 大島 洋一 岡田 久 奥村 繁樹 小村 幸久 笠井 第三 谷田部 信 横村 一郎 安食 恒昭 安達 正平 石黒 恒 石田 寛 石本 悦夫 若山 亮司 内山 隆之 太田 壮夫 大高 康夫 小黒 昌一 角家 孝之 久保 敦子 熊谷 研也 小杉 幸弘	清水 隆陽 白勢 正安 鈴木 寧 鈴木 誠二 高木 量平 田巻 宏治 田村 仁 照木 彰 中川 邦司 中島 顯 中村 元直 中山 昭一 中山 喜八郎 豊 豊 成田 順治 西 義明 庭山 六郎 花井 謙二 原 英二 露谷 親見 堀 藤四郎 堀 松平 三上 昌 三崎 正男 皆川 正 宗村 植三 村松 茂樹 山口 和郎 山城 教成 山田 幸輝 山田 陸男 渡辺 友也 長谷川 信夫 早武 正博 藤本 剛 益子 剛徳 丸山 敏視 宮田 庄之助 山崎 良一 山本 淳夫 桑山 三三 赤堀 和郎 朝日 明 浅見 昭夫 安宅 久志 田代 友志 磯野 啓 伊藤 英子 猪飼 太郎 大橋 恒夫 柿下 昌允 金子 昌三 河井 良三 川崎 栄一 河辺 全也 木村 政雄 熊谷 幸次 小池 弘 小嶋 哲夫 小林 元雄 柴野 由人 杉山 良一 田中 宣 田中 文夫 田村 忠男 中村 春雄 中村 隆雄 西澤 良地 長谷川 耕一 藤田 吉次 丸山 正広 村山 健 谷田部 信 横村 一郎 安食 恒昭 安達 正平 石黒 恒 石田 寛 石本 悦夫 若山 亮司 内山 隆之 太田 壮夫 大高 康夫 小黒 昌一 角家 孝之 久保 敦子 熊谷 研也 小杉 幸弘	武 進 花井 幸雄 藤原 泰彦 牧 憲 山崎 陽一 山田 一成 吉田 陽吾 若木 遼 渡邊 敏男 阿部 宏一 五十嵐 康男 池田 厚司 石黒 忠一 内山 真一 岡村 嘉志 小川 秋実 落合 夏樹 笠原 泰五郎 金山 常吉 切實 久司 小池 健治 小出 直一 小林 彦 佐藤 雅彦 後藤 達夫 清水 健作 鈴木 聡 高城 聡 高野 信之 高橋 進 高橋 正樹 高橋 幸夫 徳田 浩一 野村 和夫 富田 保夫 長谷川 秀三 長谷川 信夫 早武 正博 藤本 剛 益子 剛徳 丸山 敏視 宮田 庄之助 山崎 良一 山本 淳夫 桑山 三三 赤堀 和郎 朝日 明 浅見 昭夫 安宅 久志 田代 友志 磯野 啓 伊藤 英子 猪飼 太郎 大橋 恒夫 柿下 昌允 金子 昌三 河井 良三 川崎 栄一 河辺 全也 木村 政雄 熊谷 幸次 小池 弘 小嶋 哲夫 小林 元雄 柴野 由人 杉山 良一 田中 宣 田中 文夫 田村 忠男 中村 春雄 中村 隆雄 西澤 良地 長谷川 耕一 藤田 吉次 丸山 正広 村山 健 谷田部 信 横村 一郎 安食 恒昭 安達 正平 石黒 恒 石田 寛 石本 悦夫 若山 亮司 内山 隆之 太田 壮夫 大高 康夫 小黒 昌一 角家 孝之 久保 敦子 熊谷 研也 小杉 幸弘	久保田 泰雄 小林 弘夫 小嶋 武行 佐藤 大五郎 柴沢 皓 鈴木 初実 高木 正道 中野 哲之 八田 征夫 半澤 貢 本間 忠彦 本間 英男 丸山 一敏 三浦 進次 水野 左敏 村木 耕一 山崎 耕一 山本 誠之輔 吉田 治彦 66回/22名 風間 聡一 川上 肇 菊池 重治郎 木下 功 熊谷 義之 小池 文孝 佐藤 公男 堀谷 芳彦 岡中 良雄 田中 澄夫 中川 寿男 二宮 靖彦 野水 宏樹 林 武郎 半澤 弥栄子 本間 請子 三井 昌子 室 由紀子 鷺頭 陽一 67回/22名 一箭 茂夫 一柳 肇 大野 敏昭 大野 隆治 岡崎 功勝 小崎 忠志 片山 忠 川口 真 神田 昭紀 北村 幸一 佐々木 邦夫 高橋 信夫 高橋 寺井 寺井 宏 西 章 前田 康久 松島 啓二 宮田 啓雄 皆川 学 山田 十市 山田 尚男 68回/33名 安達 賢司 安達 雅巳 安達 尚武 五十嵐 昭 江上 雅子 小川 克介 上村 嶺子 亀沢 龍正 川崎 豊 小林 和久 後藤 八八 進藤 喜代子 鈴木 裕徳 須藤 美博 田川 洋介 滝沢 猛 滝澤 隆雄 滝澤 肇 田辺 紀子 寺尾 孝榮 寺尾 正大 中村 秀子 中野 常美 古館 信生 増子 英夫 松橋 伸子 松原 伸子	村山 弘公 山崎 泰彦 青木 利祐 石川 健一 佐藤 孝靖 清水 千尋 樋口 正臣 樋口 建男 横山 紅 70回/26名 石井 堅一 猪口 孝 岡田 邦敏 金子 正史 木戸 史郎 佐川 昭恵 佐野 昭 白石 旺子 関根 俊明 関根 順子 戸田 礼子 富岡 黎三郎 野川 晃一 野川 治 山田 修 山宮 士郎 若井 正嗣 渡辺 允雄 渡辺 渡介 渡部 美那実 五十嵐 勤 遠藤 正男 太田 菊代 柄沢 卓 川上 忠幸 草刈 浩 小飯塚 豊 小林 軍一郎 小林 博美 松川 真智子 佐藤 礼子 鈴木 莊太 高橋 則子 高橋 敏生 藤澤 孝二 藤本 亮介 藤本 文正 渡辺 伸一郎 渡辺 幸夫 荒川 敬子 勝見 修 金巻 裕史 安達 賢治 熊谷 忠二 斎藤 敏武 斎藤 俊正 斎藤 秀穂 斎藤 一博 島村 孝一 菅又 滋 早福 千鶴 高田 由李 野村 光治 野村 耕治郎 藤原 直之 古山 恒夫 細谷 安夫 安室 春美 若杉 毅之 渡辺 久 石黒 敏保 金子 常也 成田 祐二 南波 康男 宮崎 由美	兩川 弘道 74回/25名 藍沢 幹人 池 拓男 石井 范 石山 勉 板井 久則 上田 則男 江口 京子 遠藤 二郎 大石 憲一 加門 隆隆 菊池 喜藏 木村 幹雄 黒木 正也 佐藤 満里子 島津 明 土屋 彰義 中村 義一 波多摩 明 藤原 恭 藤原 信 横川 三男 75回/41名 有商 順子 安藤 裕司 石塚 文雄 岩崎 礼栄 植木 菊夫 植木 公平 大越 哲三 大原 正基 小田 忠 笠井 忠 川上 滋 神林 アヤ子 守 守 降 降 小嶋 隆二 斎藤 隆夫 坂元 正広 佐藤 邦雄 鈴木 正男 高橋 正 高橋 久夫 高橋 茂 萩野 由里子 藤原 博美 波田 直樹 萬渡 信行 樋口 秀夫 深沢 義和 藤縄 勝利 船岡 三男 本間 裕行 本間 裕博 村田 信雄 八木 健 山崎 信行 山田 周二 山根 英郎 渡辺 徹 76回/24名 天野 直二 小田 高久 尾張 明美 海部 和史 加野 裕資 木下 正仁 近藤 寿邦 後藤 徳広 指田 久美子 品田 裕夫 品田 樹樹 田中 承子 谷沢 まゆみ 太田 俊作 田村 学 長北 芳樹 西沢 正雄 浜田 行雄 湯本 雅恵 渡辺 拓 渡辺 雅夫 77回/8名 甲斐 元久 片山 裕 神戸 一雄	小池 重直 斎藤 隆夫 長井 健司 78回/13名 太田 秀樹 小泉 隆晴 鈴木 正明 清田 潔 高井 博英 渡澤 道夫 肥田 一成 水野 秀樹 村田 美夜子 吉澤 哲彦 79回/8名 伊藤 敏 小田 章治 河 正子 佐藤 龍男 藤原 勝 林 綾子 星 健二 吉田 英幸 80回/7名 青木 隆次 市川 隆 位田 和彦 田博己 長 正子 小野 秀子 玉木 友二 81回/36名 荒井 温 荒川 秀樹 荒川 洋 五十嵐 寛 岩田 光浩 遠藤 ミチ子 大森 泰 小野 恭 小野 正彰 尾山 尚 風間 晴夫 加藤 祐一 越野 昌芳 近藤 敦 佐藤 浩司 清水 ひとみ 高柳 孝子 玉木 勝一 中川 至 中山 西巻 長谷川 ひろ子 谷井 恵子 井 勉 広島 克彦 堀切 恵子 丸山 明 宮田 取 日黒 洋 山本 肇 横山 貞明 横山 貞力 若松 珠美 渡邊 俊雄 82回/10名 五十嵐 豊明 稲川 純 清田 基 日下部 朋子 小池 康男 成田 昌裕 西山 浩子 宮沢 謙一 宮沢 伸一 吉田 実 83回/10名 浅岡 芳朗 遠藤 光郎 佐藤 将人 佐藤 茂 鈴木 時男 本間 憲之 山口 虎彦 横山 修 84回/18名 大須賀 郷子 笠原 文男 加藤 仁 島津 孝	白川 直樹 瀬田 昭正 山崎 正巳 山崎 陽太郎 野村 一秀 廣瀬 郁夫 星野 義信 本間 清貴 正木 行晴 丸宝 祐一郎 丸山 智 山崎 辰男 85回/9名 若藤 文男 荒井 聡 奥村 基 曾川 康雄 山田 史枝 田中 研一 登坂 和生 令 令 86回/5名 角田 智子 斎藤 曉子 佐藤 昭彦 田中 利直 林 光洋 宮腰 重三郎 87回/3名 及川 朋子 清水 忠明 長場 馨 88回/8名 今井 信一郎 小竹 聡 小嶋 豊 諸橋 博樹 山崎 哲也 山崎 満 吉岡 潤 渡辺 徳昭 89回/6名 石栗 健一 岩野 裕一 倉田 裕一 斎藤 一之 佐藤 保 松井 信彦 90回/3名 歌代 真人 木村 和人 田辺 文 91回/4名 岡田 留美子 岡田 志志 酒井 祐司 原田 圭子 92回/2名 井内 陽介 内山 啓吾 97回/3名 井原 香織 藤井 洋 宮川 幸浩 98回/3名 安藤 毅 坪崎 有希子 西澤 珠美 99回/2名 斎藤 理 水澤 泉 101回/5名 安藤 勢 佐藤 夏樹 鈴木 裕子 星野 哲範 本間 昌治郎 102回/3名 池田 哲郎 島本 昌幸 西川 幸美 103回/10名 赤塚 智 阿部 英裕 石川 将人 近藤 功一 斎藤 雅浩 佐藤 弘明 田中 映子 仲川 敦政
-----------------	--	--	---	---	---	---	--	--	--